

小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会

平成 24 年度 第1回市民意見交換会 概要

「ミニ太陽光発電システム組立てワークショップ&親子で♪ソーラーパワーで遊ぼう！」

日時：平成 24 年 8 月 29 日（水）13:30～16:00

会場：小田原アリーナ 1 階 研修室

出席者（五十音順 敬称略）

・講師

小田嶋電哲（藤野電力 エネルギー戦略企画室 室長）

・小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会

【コーディネーター】志澤昌彦、鈴木大介

【委員及び関係者】井澤幸雄、大嶋啓介、中矢慎一、西山里利、西山敏樹、原正樹、
山崎淳一

・小田原市事務局

環境部副部長、エネルギー政策推進課副課長、エネルギー政策推進係員 3 名

・参加者

参加者総数：39 名

〔ミニ太陽光発電システム組立てワークショップ：5 組 9 名
親子で♪ソーラーパワーで遊ぼう！：14 組 30 名（うち小学生 15 名）〕

趣旨

より多くの市民への効果的な協議会活動の周知を行うために、昨年度の専門家による講演会を含めた市民意見交換会とは違う面からのアプローチとして、身近なエネルギーが実感できる体験型のイベント形式とし、より多くの人に再生可能エネルギー及び協議会に興味を持っていただくことを目的とした。同時に、イベントの感想や協議会の取組内容について、付箋を使ったアンケート形式を用いて意見をいただき、今後の協議会活動に役立てる。

結果概要

<1 開会>

<2 小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会 コーディネーターあいさつ>

コーディネーターの志澤氏と鈴木（大）氏から開会にあたり挨拶があった。

<3 ミニ講演>

小学生を含め参加者が理解できるような紙芝居形式のスライドを用いて、再生可能エネルギーの紹介、太陽光発電の紹介、協議会の取組内容（小田原という地域における再生可能エネルギーの普及活動）について説明した。

【演題】「“おだわら再エネ” ってなあに？」

【講師】小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会 コーディネーター 志澤 昌彦

<4 ワークショップ>

①ミニ太陽光発電システム製作

講師：藤野電力 エネルギー戦略企画室 室長 小田嶋 電哲

②ソーラーフロッグ工作

講師：協議会委員及び関係者、小田原市事務局員

<5 意見交換>

模造紙にいくつかのテーマを設け、参加者から付箋により一言ずつ意見をいただいた。
テーマ別の意見は次のとおりである。

1. “小田原”ならではのエネルギーの未来像

(1) あなたがイメージするエネルギー像は？

- ・小田原は海に面している。太陽光発電だけでなく波の力や風を大いに利用してみてもどうか。
- ・酒匂川などの河川を利用して水力発電を行ってみてもどうか。
- ・太陽光、風力、水力、あらゆる再生可能エネルギーを活用して私たちの使用する全ての電力を賄えたらいいと思う。

(2) 私たちひとりひとりにできること

- ・電気をつけっぱなしにしないようにしたい。
- ・日中は夜間に比べ明るいので、照明を節約しようと思う。
- ・原子力発電をやめたほうがいいと思う。

2. 協議会の取組について思うこと

- ・太陽光発電システムについて、価格が高額であり工事に期間を要するイメージが強い。より手軽に太陽光発電システムを取り付けられたらいいと思う。
- ・協議会が検討する事業会社から電力が購入できるようになる日が一日でも早く来ることを願ってやまない。
- ・次世代に自然を残すべく、原子力発電に頼らないエネルギー需給構造を作るべき。市民一人では出来ることも少なく、行政と共に取り組むことができたらいと思う。未来のために子供達にエネルギーについての教育指導をお願いしたい。

3. その他（感想等）

- ・思っていたよりも本格的な太陽光発電システムで驚いた。太陽光発電システムが数多く普及するといいと思う。
- ・製作は難しかったが、完成させることができて良かった。

<6 閉会>